

【日 時】2024 年 10 月 12 日（土） 13:00～15:30

【会 場】盛岡市総合福祉センター 3 階講習室

Web 開催（ZOOM ミーティングでのオンライン参加）

【出席者】（敬称略）（o は、オンライン参加を示す。）

代表理事：坂口 繁治（全県）

理 事：北向 細子（盛岡）	佐藤 雅子（全県）	西尾 卓樹（全県 o）
熊谷 雅順（全県）	白畑 勇（全県）	小笠原 隆（全県 o）
松戸 智美（全県 o）	阿部 明典（全県 o）	栗津 優（全県 o）
寺崎 拓也（全県 o）	千田 修（全県 o）	高橋 正之（全県 o）
佐々木 美幸（全県 o）	高橋 洋子（全県 o）	小野寺 幸司（二戸 o） 煙
泉 伸（久慈 o）	関澤 裕子（盛岡 o）	菅野 充（中部 o）
昆野 宏彦（胆江 o）	小原 良子（両磐 o）	高屋敷 大助（沿岸 o）
畠山 朋也（気仙）※代理		

監 事：阿部 鮎美（o）

相談役：高橋 勝

（計：25 名 代理出席 2 名）

【欠席者】（敬称略）

理 事：斉藤 穰（全県） 菊池 一希（全県） 和蛇田 達也（二戸）
千田 富士夫（気仙）

監 事：菊池 寛

相談役：佐々木裕彦

（計：6 名）

議 事

1. 開会

2. 挨拶（坂口会長）

3. 理事会成立報告

理事 23 名の出席。定款第 33 条の理事過半数を上回り、本理事会の成立を確認した。

4. 議長選出

定款第 30 条に基づき坂口会長が議長を務めることについて、理事の承認を得た。

5. 報告事項

(1) 定款第 2 1 条 3 項による職務執行状況

ア 定款第 2 1 条 3 項による職務執行状況 事務局運営の進捗

○2025/2026 役員選出選挙管理委員会委員について（上田委員長）

本日午前中、第 1 回選挙管理委員会を開催した。委員は P4 のとおり（北條氏氏名訂正あり）

○日本社会福祉士会会長会議（東京）について（坂口会長）

P5 のとおり開催された。研修案内等を line に変更したことに伴う参加者の減少あり。

○介護支援専門員相談員試験監督事業について（熊谷）

受験者の減少により、今年度はいきいき財団の職員により実施し、県士会への依頼なし。

○2024 社会福祉士東北・北海道研修大会（山形大会）について（坂口会長）

約 60 名の参加。岩手県からの出席は坂口会長のみ。

岩手県からは「にんしん SOS」の発表があり反響が大きかった。来年度は福島県開催。

○「自治体社会福祉士の支援を考える WT」について（千田）

アンケート結果は P8-2 参照。32 名より回答（回答率は約 4 割）

1/25 に第 1 回目の交流会を開催予定。

○2024 自殺予防ソーシャルワーク研修について（佐々木、高橋）

11/16 都南公民館で開催。アセスメントシートを使用した事例検討を予定。

イ 各理事（委員会・ブロック）からの情報提供

○地域共生社会委員会（北向、坂口）

7/28 開催。参加者 11 名。県士会としては初めて更生支援計画の研修を開催した。

11/24 生活困窮者支援研修会を開催予定。

○障がい委員会（阿部）

11/2 第 2 回障がい委員会を開催予定（P10）。第 1 部研修会は会員の受講可能とした。

○ユース委員会（坂口）

11/9「北東北三県小さな勉強会」各ブロックへ参加の呼びかけをお願いしたい。

今後の活動について「アンケート」を実施したが、回答率は低い。

○ばあとなあ（白畑）

家庭裁判所からの推薦依頼は増加傾向（半年で 50 件を越えた）

盛岡ブロック中心に市民後見人との複数後見が増加。役割分担が課題。

未成年後見（児童相談所長申立）ケースあり。

8 月面談実施。本人意思に沿った後見であるかどうか、報告様式に反映した。

10/15 三士会との意見交換（報告様式の変更、報酬に関する考え方等…）予定

○実習指導者委員会（栗津）

11/23 フォローアップ研修を予定。モリイ実習生からの発表を取り入れる。

ウ その他

- ・沿岸ブロック（高屋敷）氏より研修の周知。

(2) ソーシャルワーク三団体情報交換会・交流会の開催について（西尾）

12/21 各団体の現状・課題等を共有することを目的として開催予定（各団体から 10 名参加）。

各理事からも取り上げてほしいテーマがあれば連絡をいただきたい。

参加可能な理事があれば事務局へ連絡のこと。

(3) その他

6. 協議事項

(1) 能登半島豪雨における被災者支援について

- ・「能登半島地震における被災者支援活動」継続中（西尾）

P18-2 のとおり、活動協力の呼びかけを引き続きお願いしたい。

- ・二重被災への支援について（西尾）

日本から再度の義援金協力の呼びかけあり、P18-2 のとおり活動支援金の協力をお願いしたい。

→県士会としては前回同様 3 万円の義援金を送金することとした。

併せてブロックを通じて会員への呼びかけを行うことについて、理事の了承を得た。

(2) 「にんしん SOS いわてを応援する会」の賛同について（坂口）

善友乳児院より日本財団の助成が終了することに伴い、P19 のとおり依頼があった。

→賛同することについて、理事の了承を得た。

(3) 会員情報配信システム【WEBCAS e-mail 2024 クラウドサービス】について（高橋正之）

- ①メール配信システムと②顧客管理システムを導入した。

個人情報管理の外部委託を行うことになるので、会員の承諾が必要。

- ①新規登録フォームは事務局が使用、②更新フォームは会員が ID・PW を使用し個々に行う。

今後、ブロック理事へのデモンストレーション、会員の承諾を経て本格運用予定。

※ID は原則として各会員の自宅アドレスとする。

※要綱第 1 号「一般社団法人岩手県社会福祉士会メールによる情報一斉配信に係る取扱要綱」により、会員の情報は既に承諾を得ているものと解する。

→上記のとおり理事の了承を得た。

(4) 就業規程の制定について（西尾）

社会保険労務士のチェック作業中。おって理事会に提案したい。

(5) 謝金等支払い基準に関する規程の制定について（熊谷）

P28～29 の規程（案）のとおり、県士会共通の基準として提案したい。

《質疑応答》

- ・障がい委員会では独自に規程を定めた。そちらは廃止する必要があるか。（阿部）
→委員会の規程を廃止する必要はないが、この基準より低い場合は改正も可能である。（坂口）
- ・外部から社会福祉士に対する依頼の場合にも、この基準を参照して良いか。認定社会福祉士についても考慮できないか。（高橋）
→検討する。（坂口）

(6) ニュースレター 1 月号の発行について（配布版）（北向）

- ・リレートーク鷺田氏、選挙管理委員会報告、理事会報告、情報配信システム、能登半島支援、各委員会・ブロックの活動報告を予定。 ※原稿〆切 12/15 頃
→上記のとおり了承された。

(7) 2025 年度活動計画表について（坂口）

- 総会候補日: 6/8（日）
ふれあいランド年間調整の結果、基礎研修・ぱあとなあ等で会場を再調整する必要あり。

(8) 第三期中期計画の推進について（坂口）

- 計画の推進状況について共有。
事務所の確保についても再度検討していく（複数室あり、SV 実施可能な環境を検討）
→認定社会福祉士取得者 35 名とあるが、実際には 13 名。
併せて、スーパーバイザーの育成・確保は課題ではないか。（北向）
→認定社会福祉士は更新をしないことによる減少あり。（熊谷）
→数値目標を見直す。（坂口）

(9) その他

7. 議決（承認）事項

(1) 弔慰金支給規程の制定について（熊谷）

- 前回理事会の意見をふまえ、慶弔規程（案）を弔慰金規程（案）として見直した。
→異議なく承認された。

(2) 会員の入会退会の承認について

- 新規加入者 11 名について報告。
→異議なく承認された。

(3) その他

8. その他

9. 閉会

＜今後の職務執行予定＞

- ・10 月 21 日（月） 税理士指導
- ・10 月 24 日（木） 前期監事監査
- ・10 月 12 日（土） 第 3 回理事会 第 1 回選挙管理委員会
- ・10 月 19 日（土） 盛岡ブロック研修会（事例研究）
- ・10 月 26 日（土） ぱあとなあスキルアップ研修④
- ・11 月 02 日（土） 障がい委員会研修会
- ・11 月 04 日（月） 全国統一模試（会場：岩手県立大学）
- ・11 月 09 日（土） 「北東北三県小さな勉強会」（アイーナ 501 会議室）：ユース委員会
- ・11 月 10 日（日） 都道府県ぱあとなあ連絡協議会（東京）
- ・11 月 16 日（土） 自殺予防ソーシャルワーク研修（都南公民館）
- ・11 月 23 日（土） 倫理綱領・行動規範講師養成研修（Web 開催）

- ・12月12日（木） クレーム対応の基礎研修（事務局）
- ・12月19日（木）～20（金） 障がい者虐待防止研修
- ・12月21日（土） SW 三団体情報交換会・交流会
- ・1月11日（土） 第5回理事会

2024年10月12日

一般社団法人岩手県社会福祉士会 2024年度第3回理事会議事録は、当日の議事内容に相違ないことを認め、記名押印する。

議 長 坂口 繁治 印

監 事 阿部 鮎美 印